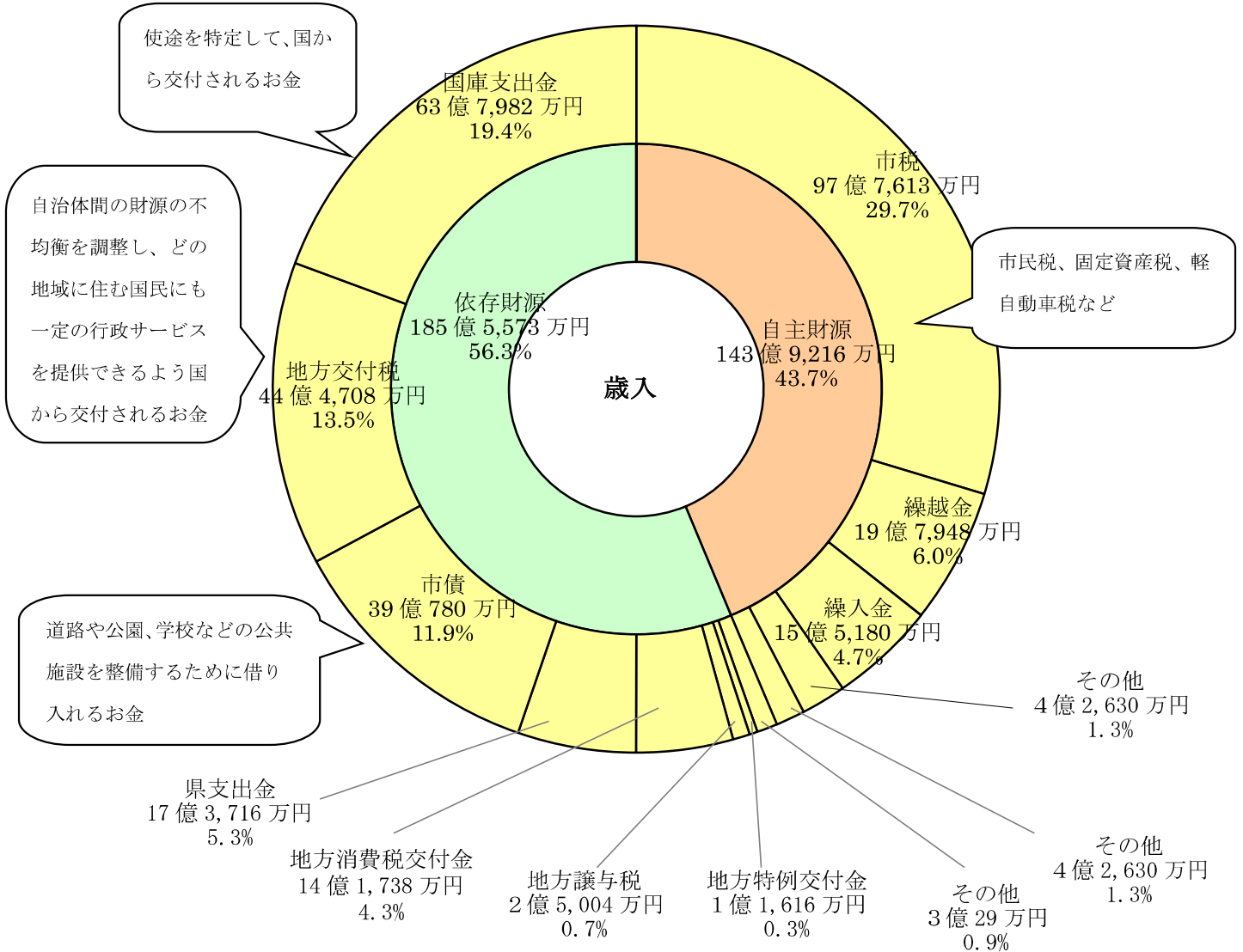


# XI 財政

## 令和3年度一般会計決算額

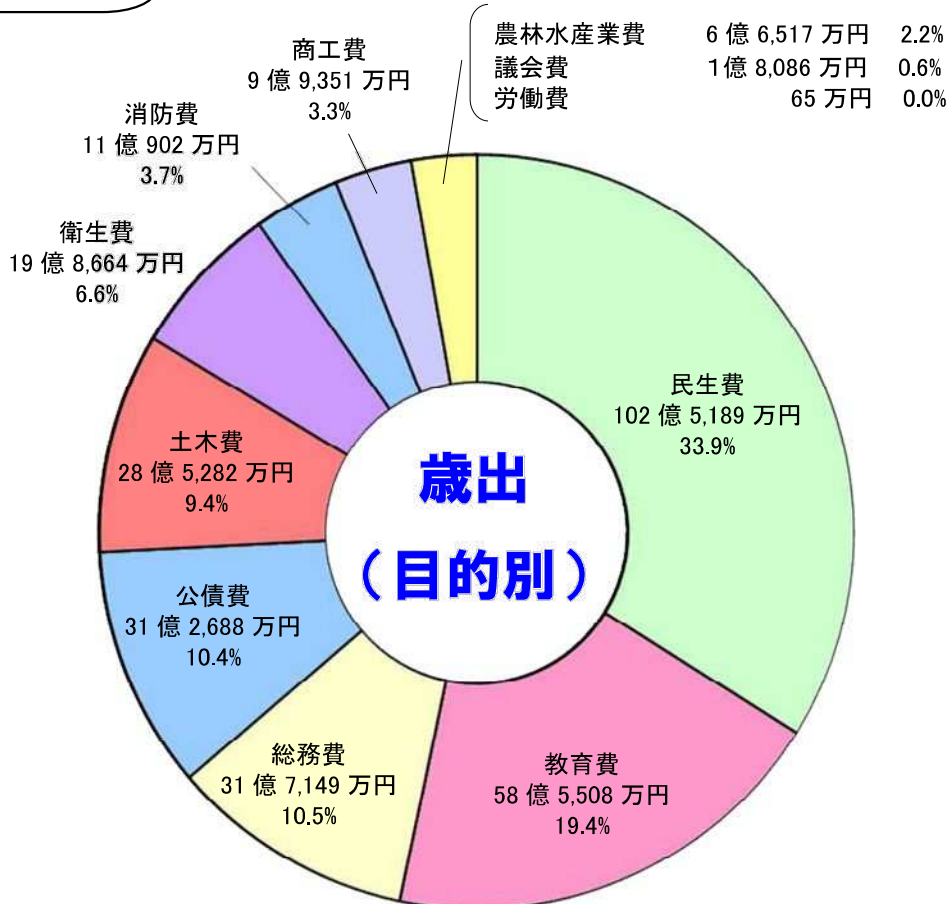
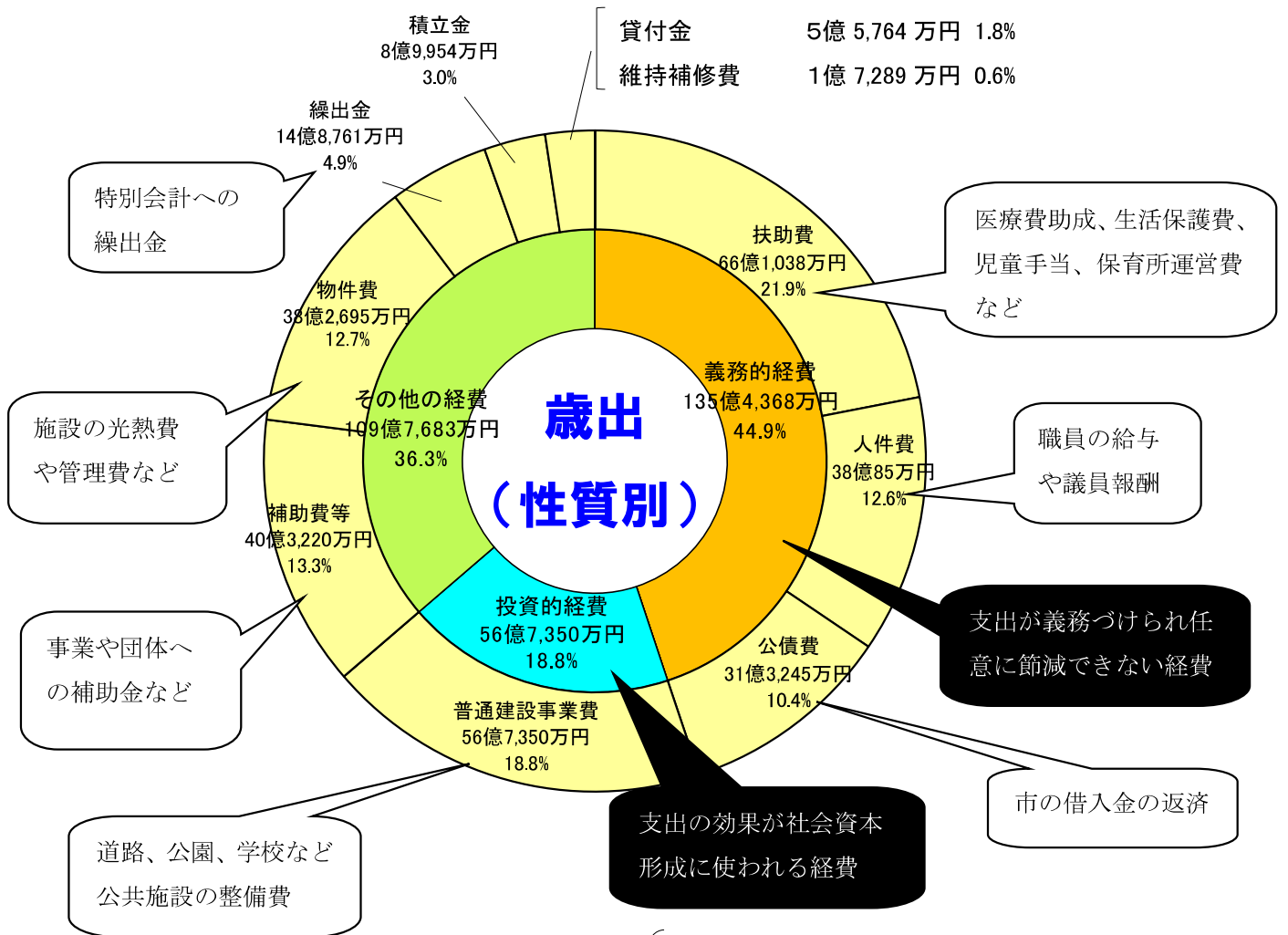
歳入総額 329億4,789万円 (前年度比 29億2,894万円、8.2%減)



「自主財源」は、市が自主的に集めることのできるお金のことです。この割合が高いほど自主的な運営がしやすくなると考えられます。

「依存財源」は、国や県の考え方を反映させ、決まった額を受け取るお金のことです。

歳出総額 301 億 9,401 万円（前年度比 37 億 334 万円、10.9%減）



## 市税の負担状況

	1人あたり	1世帯あたり
市税全体	163,025 円	391,628 円
市民税	78,521 円	188,627 円
固定資産税	67,771 円	162,805 円
軽自動車税	2,480 円	5,959 円
たばこ税	6,079 円	14,602 円
都市計画税	8,174 円	19,635 円

皆様から納めていただいた税金を税目ごとに住民基本台帳人口、世帯数で割っています。

◆ 住民基本台帳 ◆  
 (令和4年3月31日現在)  
 人口 59,929人  
 世帯数 24,947世帯

## 下野市の財政を家計簿にととえると・・・

下野市の決算状況についてより身近に感じてもらうため、令和3年度一般会計決算を年収600万円の家計にととえ「1年間の家計簿」を作成しました。なお、市と一般家庭では会計方法等が異なるため、単純な比較とはなりませんのでご了承ください。

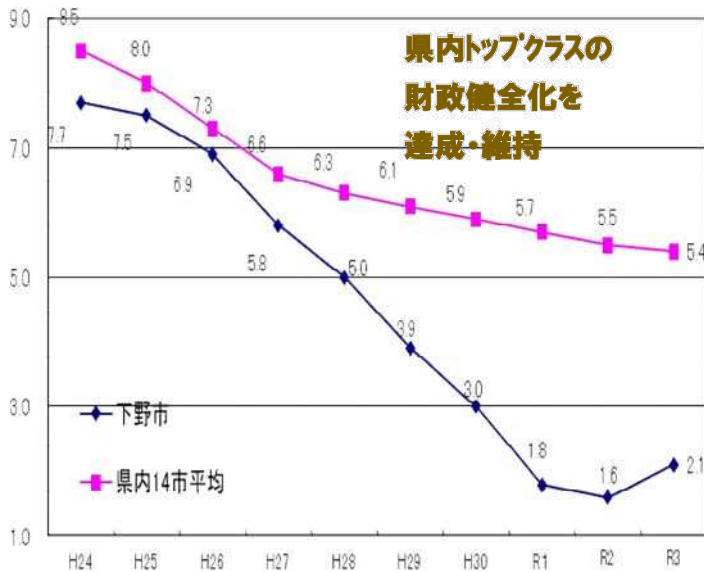
[ 収入 ]				[ 支出 ]				
項目	金額	割合	決算上の区分	項目	金額	割合	決算上の区分	
① 給与収入	基本給	166万円	28%	市税	① 食費	62万円	11%	人件費
	諸手当	93万円	15%	地方交付税 譲与税 など	② 家族の医療費	86万円	15%	扶助費
② パート収入	22万円	4%	使用料及び手数料 財産収入 諸収入 など	③ 日用品の購入や 光熱水費など	68万円	12%	物件費 維持補修費	
③ 親からの援助	206万円	34%	国県支出金	④ 仕送り	25万円	4%	繰出金	
④ 預金取り崩し	26万円	4%	繰入金	⑤ 自治会費や保険料	164万円	29%	補助費	
⑤ ローン	52万円	9%	市債	⑥ ローンの返済	48万円	9%	公債費	
⑥ 前年からの繰越金	35万円	6%	繰越金	⑦ 株などへの投資	8万円	2%	貸付金	
<b>収入合計 600万円</b>				⑧ 自家用車の購入や家の 増改築など	76万円	13%	普通建設事業費 災害復旧費 など	
				⑨ 貯金	30万円	5%	積立金	
				<b>支出合計 567万円</b>				

収支の差額 33万円は  
翌年へ繰越となります。

### 下野市の財政状況

実質公債費比率（全会計の借入金返済の割合）【県内3位／14市】

(%)

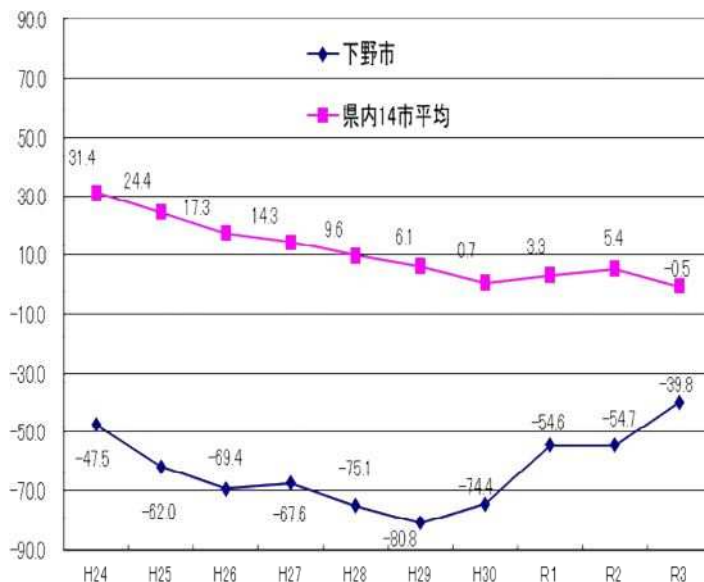


18%以下…望ましい  
18%を超えると…注意

市税などの一般財源に占める公債費（借入れた地方債の返済金）の割合を示すもので、公債費が市の財政を圧迫していないかを見るものです。この数値が18%を超えると借入に県の許可が必要になり、25%を超えると借入を制限されます。令和3年度は2.1%で、前年度の1.6%から0.5ポイント上昇し、14市平均を下回っています。

将来負担比率（将来負担すべき実質的な負債の比率）【県内3位／14市】

(%)



低い方がよい  
350%以上…危険

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。この数値が350%を超えると早期健全化団体となります。令和3年度は-39.8%で、前年度の-54.7%から14.9ポイント上昇しました。